

高収益作物次期作支援交付金申請に係る 申告書 記入例

I 事前に準備する物

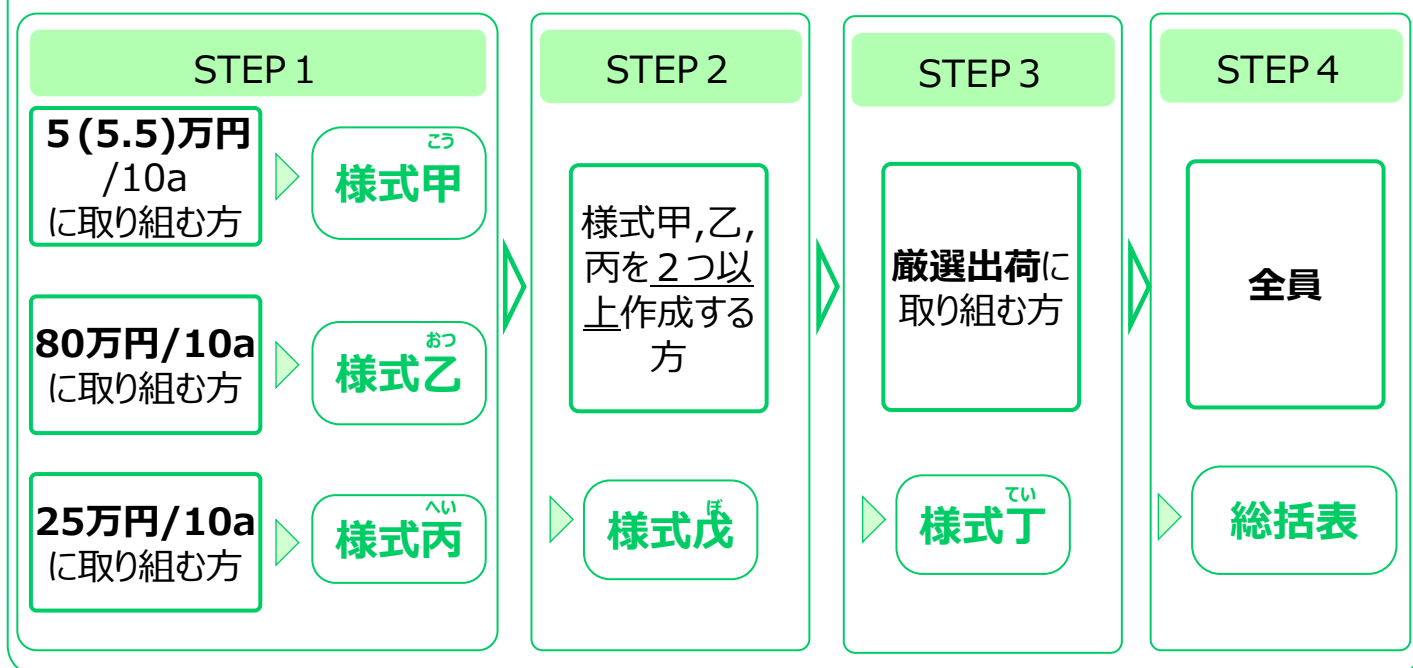
- ◆ 取組計画書（様式6-2）と、その作成に必要な書類（→農地台帳等）
- ◆ 前年作及び今年作の売上げがわかる資料（→出荷伝票等）

※ 証拠書類は、事業実施主体に提出する必要はありませんが、5年間保管の上、事業実施主体からの求めに応じて提出できるようにしてください。

※ 厳選出荷に対する支援を受ける場合は、作業日誌などを基に記入してください。

→これらをもとに、売上げや作付面積などを算出します

II 作成の手順



記入例

※次期作で5万円(5.5万円)/10aに取り組む方が作成します

キャベツ、にんじんを作付する場合

様式甲

高収益作物次期作支援交付金申請に係る申告書

要綱第4の2の(1)の支援のうち 【5万円(5.5万円)/10a】に取り組む申請者用

交付申請金額は、対象期間に出荷し又は廃棄し売上が減少した品目の「1. 減収額」、「2. 売上げが減少した品目の作付面積に対応する金額」又は「3. 次期作に取り組む面積に対応した5万円(5.5万円)/10aの交付申請金額の合計」のうち最も低い額となります。

・対象期間は、令和2年2月～4月です。この期間に出荷し、又は廃棄し、売上げが減少した品目が対象となります（生産局長が公募毎に定めた品目については、追加が認められた期間を含みます）

1. 減収額

対象期間に出荷し又は廃棄し売上げが減少した品目名①	い キャベツ	ろ にんじん	は	合計
①の品目の前年作の売上額	2,000,000 円	2,160,000 円		A 4,160,000 円
①の品目の今年作の売上額	1,750,000 円	1,920,000 円		B 3,670,000 円
①の品目の減収額				C (A-B) 490,000 円 <input checked="" type="checkbox"/>
減収率 ※ 様式乙又は丙も提出する場合はこちらに記入せず、様式戊を記入	C 490,000 円 ÷ A 4,160,000 円 × 100			D 11 % <input checked="" type="checkbox"/>

※売上額及び減収額の合計欄は100円未満切り捨て。減収率は小数点以下切り捨て。

・野菜といった大括りではなく、キャベツなど品目単位で記載してください

・今年作の売上額は、2月から出荷を終えた月までの額とします。ただし、出荷や精算が終わっていない場合は、売上げが確認できる直近月までの売上額を記載してください（長期間出荷され複数の農業者で売上げがプールされる品目は取扱が異なるので注意してください）
・前年作は今年作と同期間とします

2. 売上げが減少した品目の作付面積に対応する金額

対象期間に出荷し又は廃棄し売上げが減少した品目名①	い キャベツ	ろ にんじん	は	合計
①の品目の作付面積(平地)	50 アール a			E(※) 50 アール a
①の品目の作付面積(中山間地)		60 アール a		E' 60 アール a
①の品目の作付面積に対応する金額 平地	E 50 アール a × 5万円 / 10a = F 250,000 円			G (F+F')
中山間地	E' 60 アール a × 5.5万円 / 10a = F' 330,000 円			580,000 円 <input checked="" type="checkbox"/>

※作付面積の合計欄は1a単位。1a未満は切り捨て。

・前年から規模拡大(縮小)した場合は、前年の売上げ額に規模拡大(縮小)の比率をかけた額を記入してください

3. 次期作に取り組む面積に対応した5万円(5.5万円)/10aの交付申請金額の合計

次期作の高収益作物品目名	い キャベツ	ろ にんじん	は	ウ 630,000 円 <input checked="" type="checkbox"/>
--------------	-----------	-----------	---	--

✓ア、イ、ウのうち最も低い額(=交付申請金額)にチェック

・野菜価格安定制度の補給金を受けている場合は、前年作、今年作とも売上げ額に補給金を加えてください

・次期作に取り組む品目を記載します
・次期作で「キャベツ」を「ほうれんそう」に切り替える場合は、「ほうれんそう」と記載します

80万円、25万円/10aの取組(様式乙、様式丙)も同様に記入します